

# 平成22年9月中間決算の概要

1. 要 約	.....	1ページ
2. 営 業	.....	2
3. 損 益	.....	6
4. 不良債権	.....	8
5. 自己資本	.....	10
6. 今期の業績予想	.....	12
7. やや長い目でみた経営動向	.....	13
(付)営業店一覧	.....	15

数字は原則として単体ベース、単位未満切捨て

# 1. 要約

- 22年度上期の経済情勢をみると、欧州ソブリン問題を契機に再び景気の先行き不透明感が強まり、市場金利は一段と低下した。企業倒産は小康状態で推移したが、中小企業の業況は総じて低迷を続けた。
- 当行の9月中間決算をみると、純利益は、単体が490百万円で前年比168百万円増、連結でも636百万円で同182百万円増と前年比増益となった。ただ、当初予想(単体・連結とも7億円)には及ばなかった。
- 増益となったのは、株式償却損の減少(前年10億円→1億円)など有価証券関係の損益が大幅に好転したことによる。ただ、不良債権処理費用は増加した(同3億円→11億円)。
- 22年度上期の営業をみると、預金と窓販は増加したが、貸出は減少し、貸出金利も低下した。この結果、相対型営業の成果を示すコア業務純益は1,432百万円と低水準の前年を52百万円上回るにとどまった。

- 財務内容は引続き改善した。9月末の不良債権比率が4.14%(3月末4.38%)に低下した一方、自己資本比率は9.82%(同9.75%)に上昇した。
- 23年3月期(通期)の純利益については、単体10億円程度(前年3億円)、連結12億円程度(同3億円)と増益を見込んでいる。当初予想(単体・連結とも15億円)を下回るのは、不良債権処理費用が増加するほか、当初は皆無とみていた株式償却損が見込まれることによる。

## 22年9月中間決算

(単位:百万円)

		22年9月期	21年9月期	前年同期比
単体	経常収益	7,128	7,446	▲ 318
	経常利益	440	162	278
	純利益	490	322	168
連結	経常収益	8,333	8,871	▲ 538
	経常利益	645	329	316
	純利益	636	454	182

## 2. 営業

### (1) 預金

- 預金は上期中135億円増加し(前年44億円増)、9月末の残高は5,835億円、前年比1.0%増となった。
- 預金者別にみると、個人預金は投信へのシフトもあり若干減少したが、法人預金、公金預金はかなり増加した。
- 期間別にみると、流動性、定期性ともに増加した。

### (2) 窓販

- 上期の窓販は投信を中心に66億円と低水準の前年(41億円)を上回った。
- 9月末の預り資産は749億円、前年比5.8%増となった。
- 預金と預り資産を合計してみると、9月末では6,584億円、前年比1.5%増となっている。

### 22年度上期の預金

(単位:億円)

		増 減		9月末残高	
			前 年		前年比%
預金者別	個人	▲ 24	▲ 30	4,557	▲ 0.7
	一般法人	68	21	960	6.6
	地公体等	91	53	317	12.0
期間別	流動性	70	49	2,039	4.3
	定期性	64	▲ 4	3,795	▲ 0.6
合 計		135	44	5,835	1.0

(注)NCD含む。

### 22年度上期の窓販

(単位:億円)

		販 売 額		9月末預り資産残高	
			前 年		前年比%
投 信		39	23	386	7.2
保 険		22	12	288	5.9
公 共 債		4	5	75	▲ 1.2
合 計		66	41	749	5.8

### (3) 貸出

- 貸出は上期中76億円減少し(前年68億円減)、9月末の残高は4,382億円、前年比1.0%減となった。  
なお、償却を除くと51億円の減少(前年59億円減)。
- 住宅ローンは27億円増(前年15億円増)とまずまずながら、事業性貸出は8億円減(同56億円減)と引き続き減少した。また、事業性貸出のうち中小企業向けは26億円の減少(同45億円減)となった。
- 貸出約定平均金利(残高ベース)は上期中0.056%低下し、9月末では2.306%となった。これは、企業の資金需要が引き続き低迷したうえ、銀行間の貸出競争が一段と激化したことによる。
- 上期の預貸率は末残75.1%(3月末78.2%)、平残76.9%(同76.7%)となった。
- 当行は、地元経済を下支えするとともに、当行の収益力強化を図るため、貸出の増強に一段と力を入れていく方針である。

### 22年度上期の貸出

(単位:億円)

	増 減		22/9月末残高	
		前年		前年比%
消費性	22	10	1,441	3.4
住宅ローン	27	15	1,301	4.7
事業性	▲ 8	▲ 56	2,531	▲ 0.6
中小企業	▲ 26	▲ 45	1,916	▲ 3.1
地公体	▲ 45	▲ 2	301	4.4
その他とも合計	▲ 76	▲ 68	4,382	▲ 1.0

### 貸出の動向

	住宅ローン		中小企業向け		その他とも合計	
	増 減 億円	残高前年比 %	増 減 億円	残高前年比 %	増 減 億円	残高前年比 %
18年度	44	4.2	▲ 163	▲ 6.5	▲ 37	▲ 0.7
19年度	43	3.9	▲ 264	▲ 11.4	▲ 230	▲ 4.9
20年度	87	7.6	▲ 31	▲ 1.5	73	1.7
21年度	46	3.8	▲ 80	▲ 4.0	▲ 41	▲ 0.9
22/上期	27	4.7	▲ 26	▲ 3.1	▲ 76	▲ 1.0

#### (4) 有価証券

- 有価証券は上期中48億円増加し、9月末の残高は1,064億円、前年比15.3%増となった。株式と投信は減少したが、国債等の債券が大幅に増加。
- 9月末の債券デュレーション(平均残存期間)は3.8年とやや長期化(3月末2.0年)。
- 9月末の有価証券の含み損は11億円と保有株の値下がりから若干増加(3月末7億円)。
- 上期の預証率は末残18.2%(3月末17.8%)、平残19.9%(同19.2%)と若干上昇した。

#### 保有有価証券の含み損益 (「その他有価証券」ベース)

(単位:百万円)

	合計	債券	株式	投信等
20/3月末	▲ 4,621	▲ 1,371	▲ 2,083	▲ 1,166
21/3月末	▲ 3,532	▲ 114	▲ 1,438	▲ 1,979
22/3月末	▲ 718	381	▲ 234	▲ 865
9月末	▲ 1,181	781	▲ 757	▲ 1,205

#### 22年度上期の有価証券

(単位:億円)

	増 減		9月末残高	
		前年		前年比%
債券	58	▲ 52	949	20.3
株式	▲ 6	5	58	▲ 17.1
投信等	▲ 3	5	55	▲ 11.7
合計	48	▲ 41	1,064	15.3

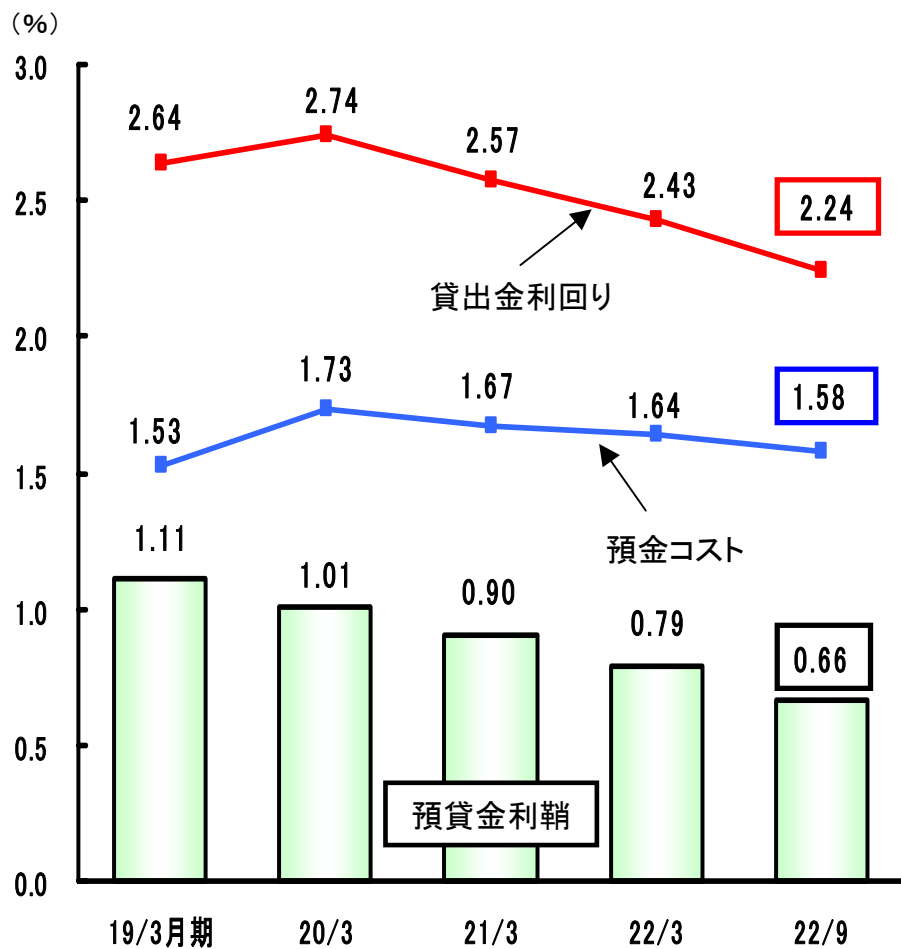
#### 債券の内訳

(単位:億円)

		22/上期増減		9月末残高	
			前年		構成比%
発行者別	国内債	46	▲ 53	759	79.9
	うち 国債	42	▲ 55	550	57.9
	事業債	28	72	130	13.6
	外国債	12	1	189	19.9
残存期間別	1年未満	▲ 131	3	24	2.5
	1年以上5年未満	95	▲ 80	543	57.2
	5年以上10年未満	106	47	281	29.6
	10年以上	▲ 10	▲ 22	100	10.5
合計		58	▲ 52	949	100.0

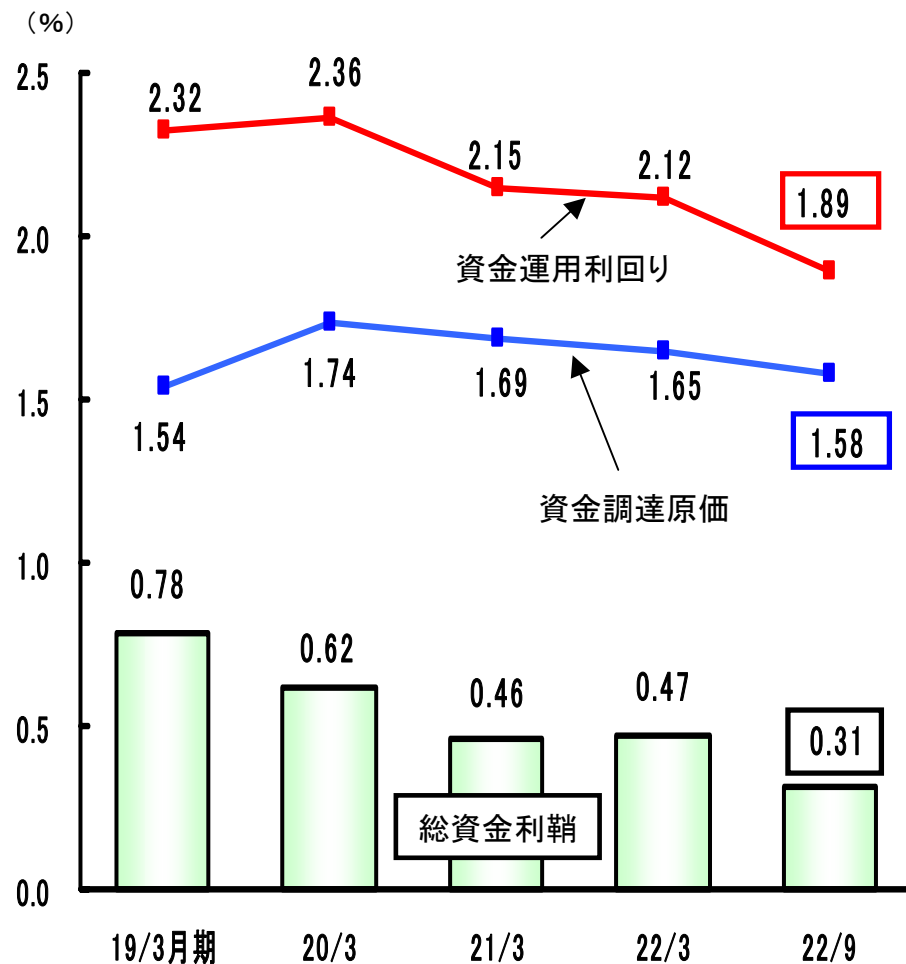
## (5) 利鞘

利鞘は運用利回りの低下から引続き縮小。



(参考) 預金利回り

19/3月期	20/3	21/3	22/3	22/9
0.15	0.33	0.37	0.27	0.21



(参考) 有価証券利回り

19/3月期	20/3	21/3	22/3	22/9
1.32	1.39	1.17	1.45	0.85

### 3. 損益

(単位:百万円)

#### (1) 業務純益

- 資金利益は47億円と前年比2億円の減少。
  - －主力の貸出金利息は貸出金利の低下、貸出の減少から3億円の減少。
  - －有価証券利息は金利の低下から1億円の減少。
  - －預金利息は預金金利の低下から2億円の減少。
- 窓販手数料は販売の増加、預り資産残高の増加から同1億円の増加。
- 債券5勘定は償却の減少(前年2億円→0)から同2億円の増加。
- 営業経費は物件費、税金の減少から同1億円の減少。
- 実質業務純益(一般貸倒引当金を除く業務純益)は1,840百万円と同294百万円の増加。
- コア業務純益(債券5勘定を除く実質業務純益)は1,432百万円と同52百万円の増加。

	22/9月期	21/9月期	前年比
資金利益	4,726	4,983	▲ 257
貸出金利息	4,902	5,270	▲ 368
有価証券利息配当金	484	608	▲ 124
預金利息	604	842	▲ 238
役務取引等利益	469	370	99
窓販手数料	288	188	100
債券5勘定※ A	408	165	243
売却益	408	446	▲ 38
債券償却	—	▲ 269	269
経費	3,856	3,980	▲ 124
人件費	1,730	1,729	1
物件費	1,859	1,907	▲ 48
税金	266	342	▲ 76
実質業務純益 B	1,840	1,546	294
コア業務純益 B-A	1,432	1,380	52

※債券5勘定＝国債等債券売却益、償還益、売却損、償還損、償却

## (2) 純利益

- 実質業務純益は前年比3億円の増加。
- 不良債権処理費用は貸倒引当金の積み増し、償却の増加から11億円と同8億円の増加。
- 株式の償却は1億円と同9億円の大幅減少。
- この結果、経常利益は440百万円と同278百万円の増益となった。  
償却債権取立益など特別損益を加えた純利益も490百万円と同168百万円の増益となった。
- 連結ベースでは、経常利益は645百万円と前年比316百万円の増益、純利益は636百万円と同182百万円の増益となった。
- ただ、貸出金利息収入の減少、不良債権処理費用の増加など、収益の基調は依然不芳と考えている。

(単位:百万円)

	22/9月期	21/9月期	前年比
実質業務純益	1,840	1,546	294
不良債権処理費用	1,191	374	817
一般貸倒引当金繰入(△戻入)	358	△ 674	1,032
個別貸倒引当金繰入(△戻入)	5	629	▲ 624
貸出金償却・売却損	828	418	410
株式3勘定※	▲ 143	▲ 1,014	871
株式償却	▲ 122	▲ 1,043	921
経常利益	440	162	278
償却債権取立益	113	176	▲ 63
中間純利益	490	322	168

※株式3勘定＝株式等売却益、売却損、償却

(参考)連結ベース

経常利益	645	329	316
純利益	636	454	182



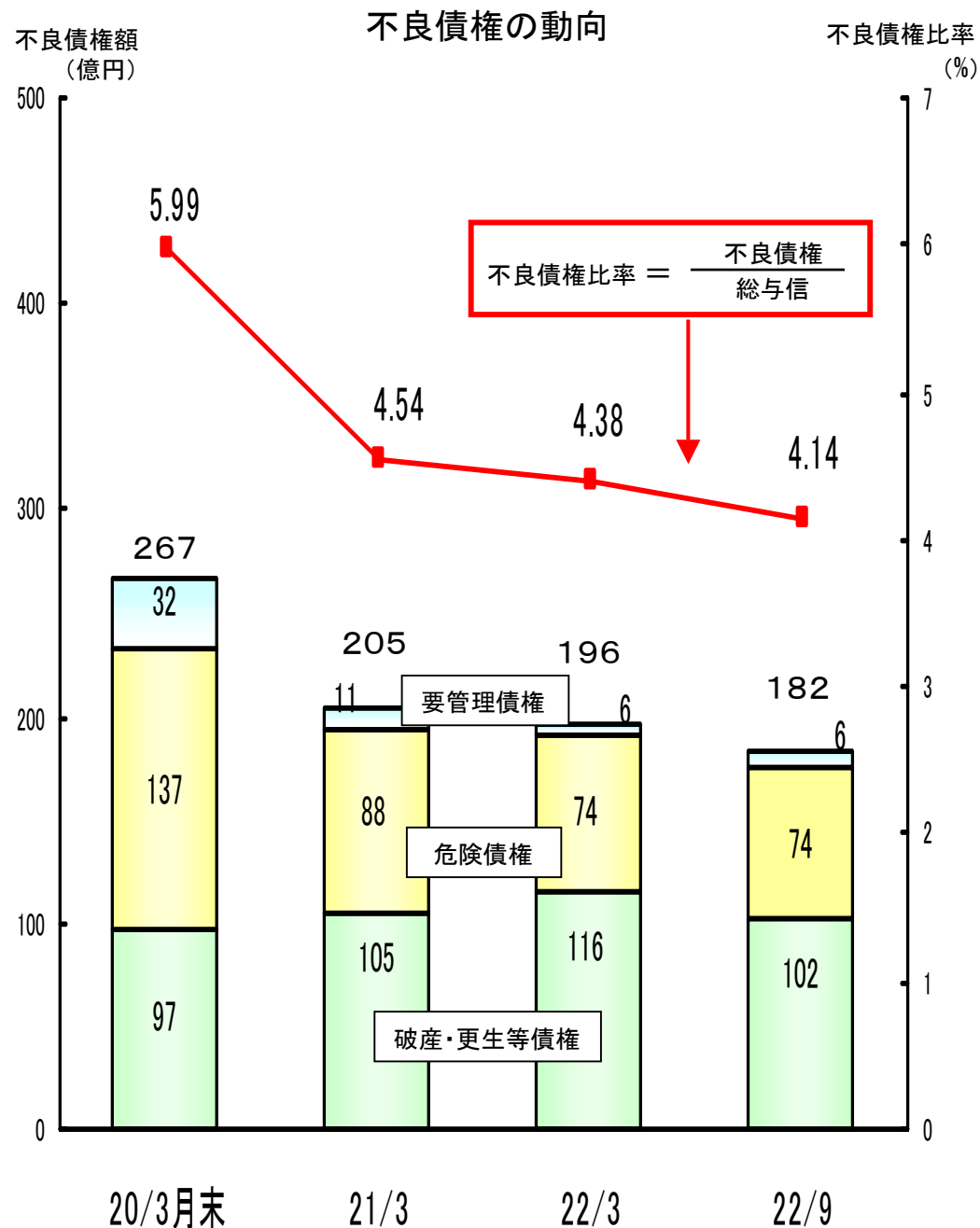
## 4. 不良債権

- 9月末の不良債権(金融再生法開示基準)は182億円と3月末比14億円の減少。  
ただ、正常債権から不良債権への下方シフトは依然高水準。
- 9月末の総与信は4,408億円と3月末比79億円の減少。
- この結果、不良債権比率は4.14%と引続き低下(3月末4.38%)。

不良債権の増減要因

(単位:億円)

	21/3月末	22/3月末	22/9月末
正常債権への上方シフト	▲ 39	▲ 14	▲ 3
正常債権からの下方シフト	65	65	27
償却	▲ 50	▲ 20	▲ 24
売却	0	0	0
返済・回収	▲ 38	▲ 39	▲ 14
合計	▲ 62	▲ 9	▲ 14



- 業種別に不良債権比率(リスク管理債権ベース)をみると、建設業、卸小売業、不動産業、サービス業は依然高めとなっている。

業種別の不良債権動向(22年9月末)

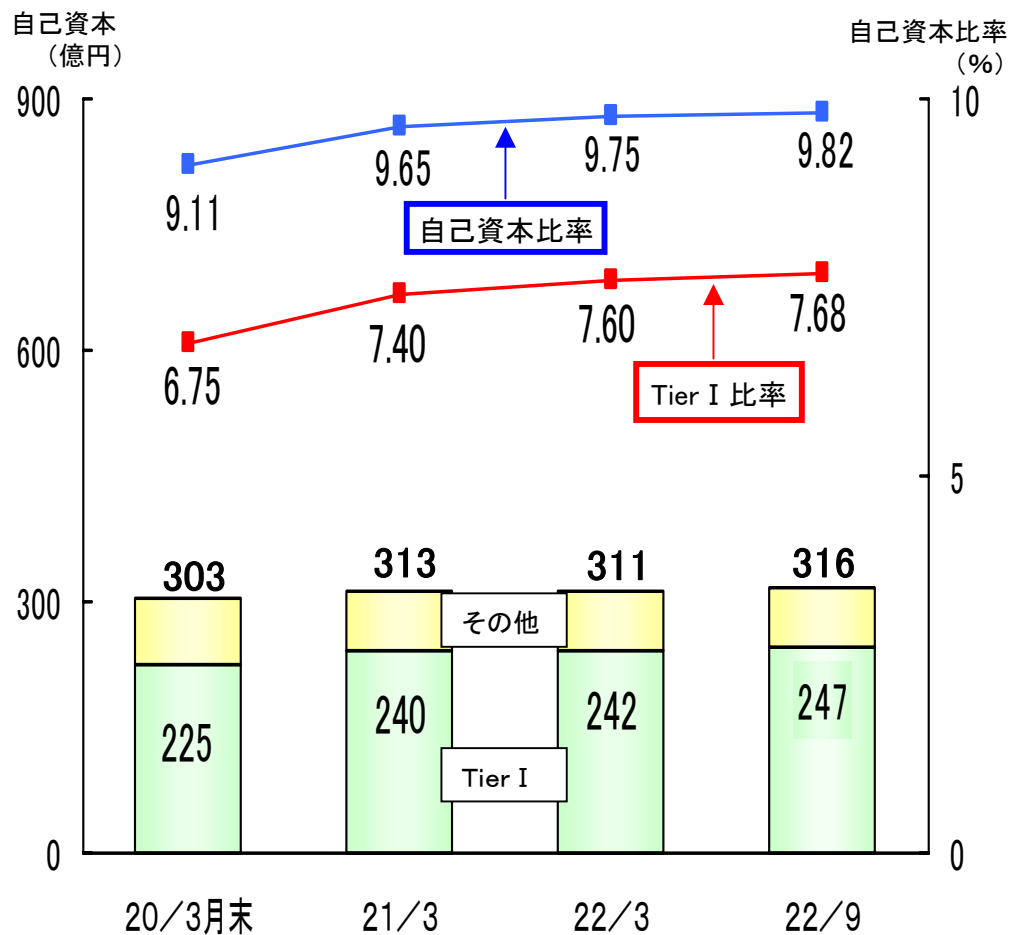
(単位:百万円、%)

業種	貸出残高		リスク管理債権残高		不良債権比率	
	A	3月末比	B	3月末比	B/A	3月末比
製造業	33,383	▲ 764	1,269	▲ 93	3.8	▲ 0.1
建設業	26,784	▲ 900	2,813	▲ 37	10.5	0.3
情報通信業	4,692	1,811	167	0	3.5	▲ 2.2
運輸業・郵便業	14,399	▲ 1,015	200	▲ 72	1.3	▲ 0.4
卸売業・小売業	42,789	▲ 460	2,811	44	6.5	0.2
金融業・保険業	22,501	▲ 188	20	▲ 1	0.0	0.0
不動産業・物品賃貸業	47,199	1,597	3,736	▲ 1,074	7.9	▲ 2.6
各種サービス業	54,093	▲ 3,730	4,933	▲ 33	9.1	0.6
国・地方公共団体	33,944	▲ 5,333	-	-	-	-
個人その他	158,483	1,365	2,158	▲ 169	1.3	▲ 0.1
合計	438,267	▲ 7,617	18,111	▲ 1,435	4.1	▲ 0.2

## 5. 自己資本

(単位: 億円、%)

○ 9月末の自己資本比率(BIS国内基準)は9.82%、  
Tier I 比率は7.68%に上昇。



		22/9月末	22/3月末	3月末比
自己資本	A	316	311	5
Tier I (中核的資本)	B	247	242	5
Tier II (補完的資本)		69	69	0
うち劣後債		37	37	-
控除項目		▲ 1	▲ 1	-
リスクアセット	C	3,220	3,189	31
信用リスクアセット		3,005	2,965	40
うち貸出		2,498	2,480	18
オペレーショナルリスクアセット		214	223	▲ 9
自己資本比率	A/C	9.82	9.75	0.07
Tier I 比率	B/C	7.68	7.60	0.08

(参考) 有価証券の含み損を考慮した場合

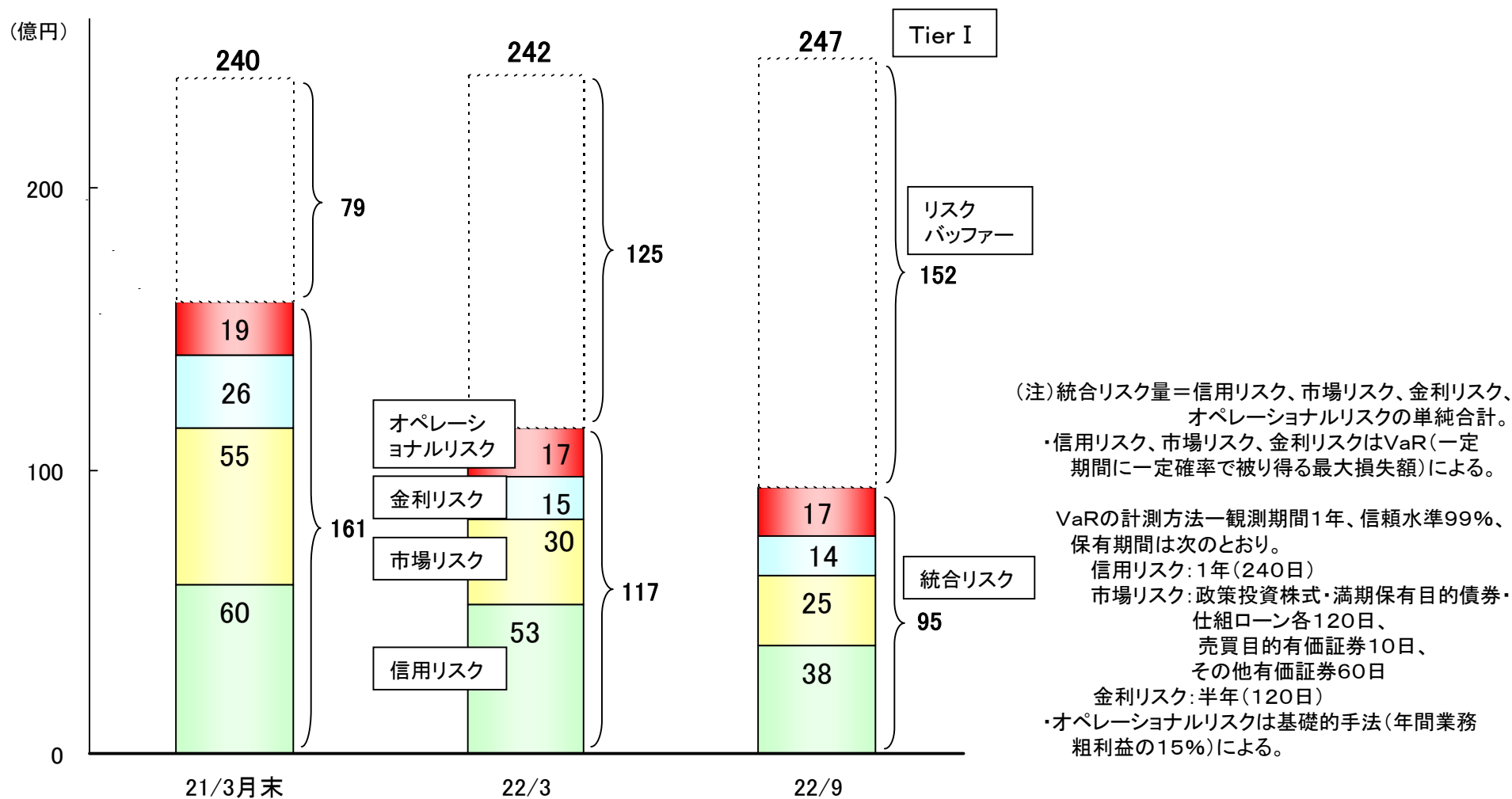
(単位: %)

実質自己資本比率	9.46	9.52	▲ 0.06
実質Tier I 比率	7.32	7.37	▲ 0.05

○ 9月末の統合リスク量は95億円と信用リスク量の減少から3月末比22億円の減少。

9月末のTier I は247億円と統合リスク量95億円を大幅に上回っている。

○ なお、アウトライヤー規制における9月末の銀行勘定金利リスク量は自己資本の19.9%に上昇(3月末16.8%)。



## 6. 今期の業績予想

○ 23年3月期(通期)の純利益については、単体10億円程度(前年3億円)、連結12億円程度(同3億円)と見込んでいる。

－5月15日発表の当初予想(単体・連結とも15億円)を下回るのは、不良債権処理費用が増加するほか、当初は皆無とみていた株式償却損が見込まれることによる。

○ 23年3月末の財務内容については、当初予想どおり、不良債権比率4%程度(前年4.38%)、自己資本比率10%程度(同9.75%)と見込んでいる。

○ なお、期末の配当については、当初方針どおり、1株につき1円50銭(前年1円)を予定している。

(損益)

(単位:百万円)

		21/3月期 実績	22/3月期 実績	23/3月期 予想
単 体	経常収益	14,985	15,823	14,000
	経常利益	▲ 3,934	85	800
	純利益	▲ 3,286	300	1,000
連 結	経常収益	17,606	18,320	16,500
	経常利益	▲ 3,796	241	1,000
	純利益	▲ 3,285	388	1,200

(財務内容)

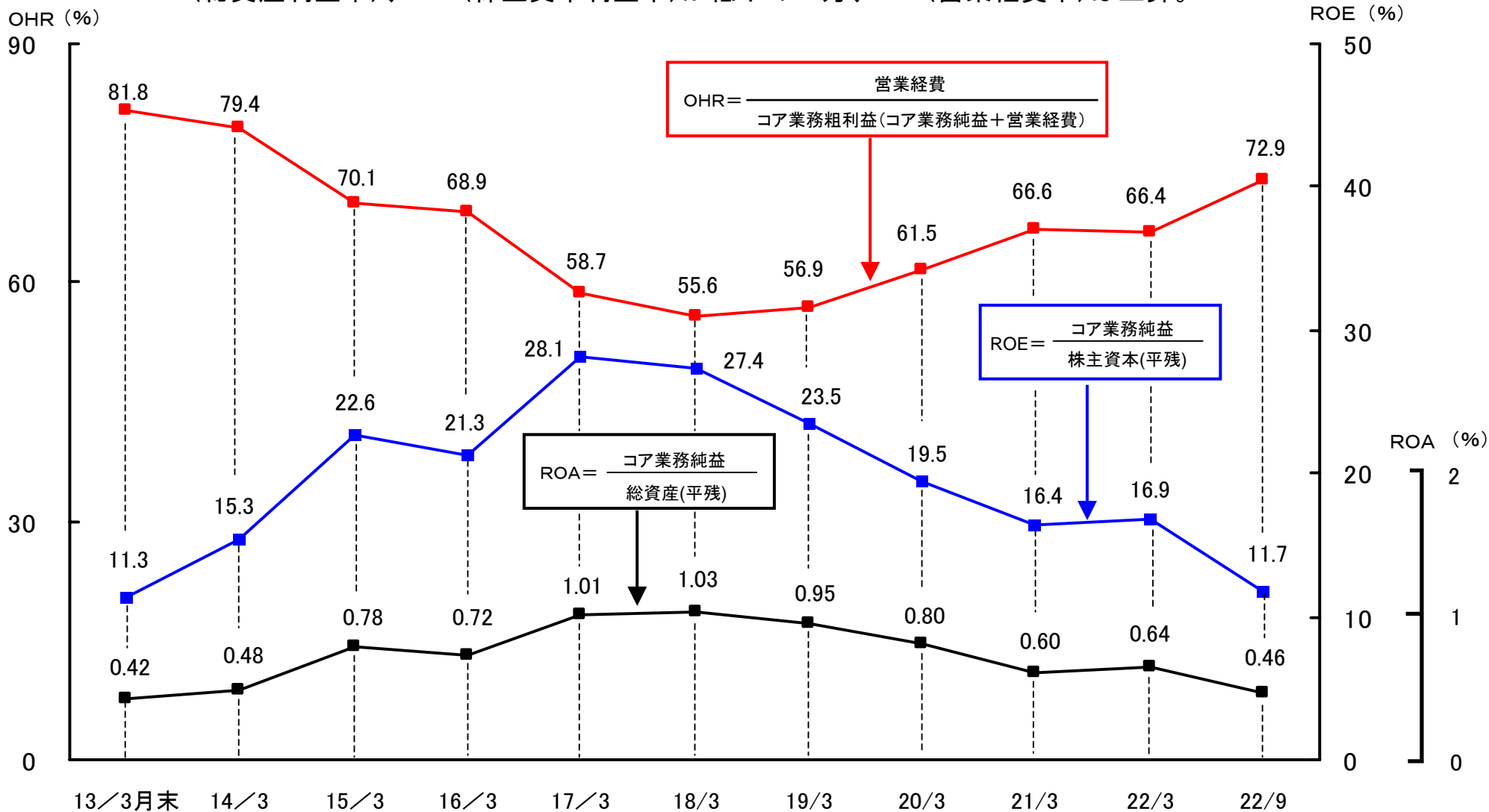
(単位:%)

		21/3月期 実績	22/3月期 実績	23/3月期 予想
単 体	不良債権比率	4.54	4.38	4%程度
	自己資本比率	9.65	9.75	10%程度
連 結	不良債権比率			
	自己資本比率	9.59	9.72	10%程度

## 7. やや長い目でみた経営動向

### (1) 収益性—近年は悪化

ROA(総資産利益率)、ROE(株主資本利益率)が低下の一方、OHR(営業経費率)は上昇。

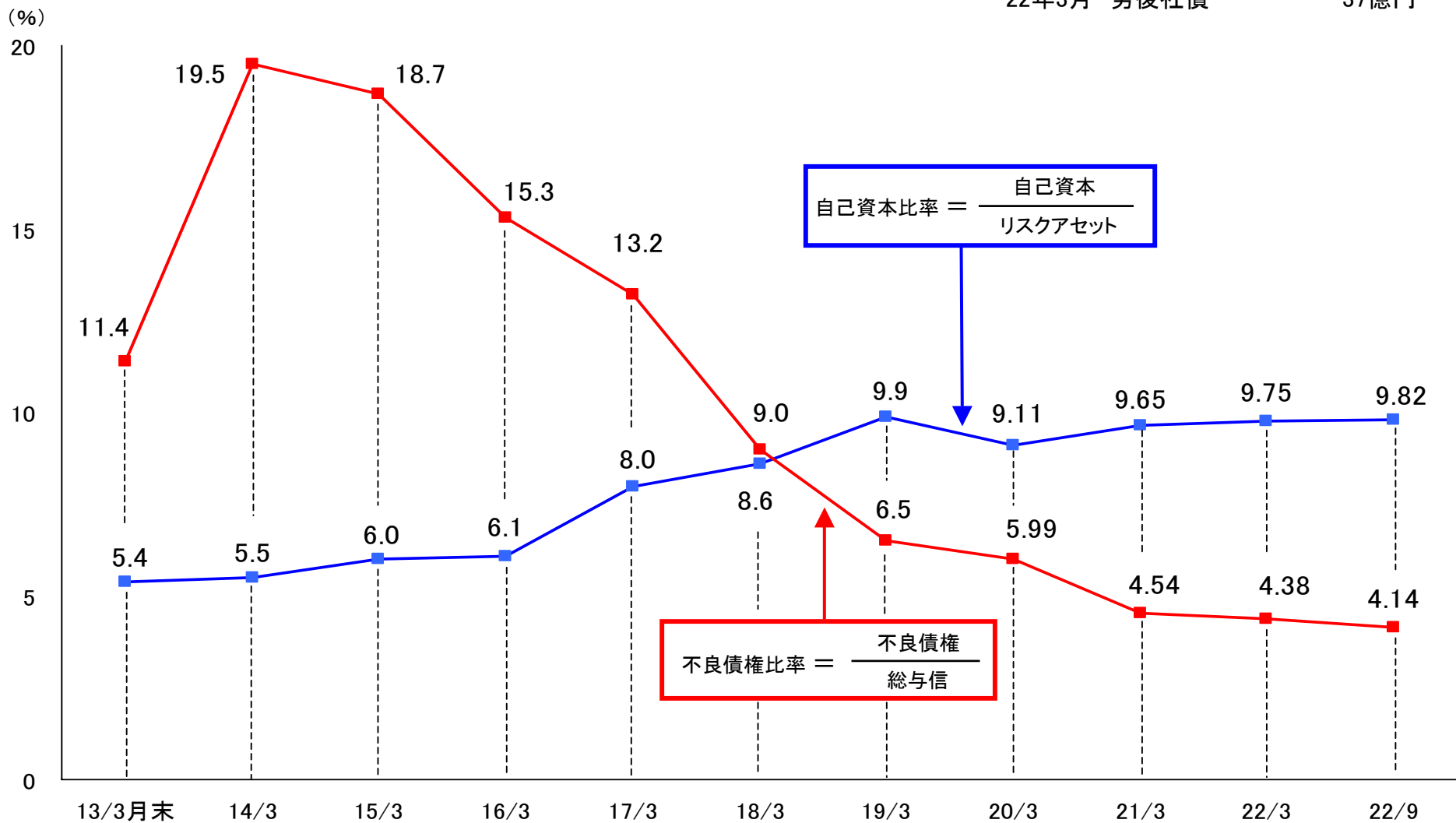


## (2) 健全性－引続き改善

不良債権比率が大幅に低下の一方、自己資本比率は着実に上昇。

(参考)資本の外部調達

14年3月	第三者割当増資	146億円
16年9月	新株予約権付社債	20億円
17年3月	劣後社債	45億円
18年9月	新株予約権付社債	45億円
22年3月	劣後社債	37億円



(付) 営業店一覧(営業時間:平日午前9時~午後5時)

	店舗名	営業店長	電話番号	
県	本店営業部	常務執行役員 遠藤 久志	024-525-2911	
	渡利出張所	安田 行雄	024-523-3341	
	山下町出張所	佐藤 哲也	024-531-5311	
	泉出張所	長嶺 公木	024-559-1231	
	福島西支店	渡辺 吉信	024-534-7158	
	福島北支店	本名 勝幸	024-553-5561	
	福島南支店	葛西 宏一	024-545-3111	
	蓬萊出張所	岩本 学	024-548-6331	
	笹谷支店	和泉 好宏	024-558-1135	
	岡部支店	草野 真之	024-531-8081	
	北	大森支店	佐久間 行英	024-546-5911
		八島田支店	熊坂 久幸	024-558-6001
		飯坂支店	芳賀 良栄	024-542-3251
		保原支店	今村 正弘	024-575-3101
		桑折支店	末永 秀一	024-582-2207
		川俣支店	林 昭夫	024-565-2211
二本松支店		大井川 恵一	0243-22-2151	
県		本宮支店	佐藤 善範	0243-34-3161
	郡山営業部	常務執行役員 鈴木 弘志	024-932-1500	
	さくら通出張所	遠藤 秀典	024-931-5670	
	芳賀支店	丹野 眞宏	024-956-0188	
	開成支店	鈴木 重晴	024-921-0301	
	大槻支店	織内 康司	024-951-8500	
	富久山支店	前野 博之	024-934-1620	
	菜根支店	山本 利幸	024-923-4500	
	安積支店	小野 英典	024-945-5530	
	荒井支店	鈴木 岳伯	024-946-1850	
	富田支店	佐々木 茂雄	024-952-3922	
中	須賀川支店	稲村 修	0248-75-2158	
	須賀川西支店	宮崎 浩行	0248-72-8855	

	店舗名	営業店長	電話番号	
県	矢吹支店	眞壁 孝文	0248-42-3911	
	白河支店	吉田 直人	0248-24-1311	
	船引支店	熊坂 光幸	0247-82-1151	
	石川支店	安齋 健造	0247-26-2127	
	南	棚倉支店	後藤 秀之	0247-33-2211
		矢祭支店	大橋 徹	0247-46-3141
会津	会津支店	佐藤 明則	0242-26-6311	
	門田支店	半澤 健一	0242-28-5131	
	猪苗代支店	黒須 正雄	0242-62-2054	
	喜多方支店	山口 啓二	0241-22-2163	
浜通り	相馬支店	上野 芳秀	0244-35-2161	
	原町支店	渡辺 敦雄	0244-23-2158	
	浪江支店	小貫 博市	0240-34-3181	
	富岡支店	新田 廣行	0240-22-2161	
	四倉支店	田中 真一	0246-32-4151	
	平支店	執行役員 齋藤 郁雄	0246-23-3331	
	平東出張所	佐藤 善典	0246-21-5411	
	内郷支店	伊藤 伸一	0246-26-2061	
	湯本支店	小石沢 好勝	0246-42-2138	
	小名浜支店	山崎 英夫	0246-53-4101	
植田支店	新田 孝喜	0246-62-2151		
県外	仙台支店	佐藤 健市	022-223-8191	
	黒磯支店	長谷川 正人	0287-62-1625	
	水戸支店	神谷 義晴	029-224-5606	
	大宮支店	星 昌吾	048-643-2830	

(参考)ローンプラザ(営業時間:平日午前11時~午後7時)  
土曜午前11時~午後5時)

福島	福島市浜田町	024-521-6177
郡山	郡山市西ノ内(郡山営業部内)	024-932-3380
白河	白河市新白河(白河支店内)	0248-24-5858
いわき	いわき市平(平支店内)	0246-37-8816



本資料には、将来の業績に係る記述が含まれております。

こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより異なる可能性があることにご留意ください。

～お問い合わせ先～

株式会社福島銀行 経営企画室

広報担当 井上大樹

同 須藤祐介

TEL: 024-525-2525 (代)

FAX: 024-536-5338

E-Mail: keiki@fukushimabank.co.jp

URL: <http://www.fukushimabank.co.jp>

以 上